



津小だより

〒959-4402 阿賀町津川3234

R6.12.3 No.8

『阿賀町 集落のお宝再発見』は、阿賀学の貴重な資料！

校長 高松 豊

「残したい、語りたい。ふるさとのこと。」をテーマに、町社会教育委員の皆さんが、『阿賀町 集落のお宝再発見』という冊子を作成しました。これは町の15年教育において貴重な資料となります。興味深いこの冊子を子ども目線で紹介します。

福取区は阿賀町で一番雪が降る地域で、昔は3メートルくらい降っていました。60年くらい前までは1月31日が大晦日、2月1日が元日という風に、1か月遅れて正月をしていました。おそらく雪が多かったためだと思います。【福取集落】



人々は雪の降る量に合わせて生活をしていたんだね。昔の暮らしは大変だったんだろうね。

おいしいお米とぜんまいが採れたおかげで出稼ぎには行きませんでした。昔は毎年1000俵の米を出したくらい米がよく育ちました。山の幸として松茸もたくさん採れました。炭焼き作業も生活の一部でした。【田沢集落】

すごいね、1000俵のお米が採れたのか。ぜんまいや松茸もたくさん採れたなんて山の幸が豊富だったんだね。



津川地域の三大特徴は津川城の「城下町」、津川河港の「港町」、津川宿の「宿場町」です。会津街道を下って若松の次に賑わったのは港があったからです。大正3年に岩越線（今の磐越西線）が開通してから水運が廃れ、徐々に衰退していきました。【津川9区】



昔の津川は、「城下町・港町・宿場町」として大勢の人たちが集まる賑やかな町だったんだね。

昭和電工の周辺には、ハーモニカ長屋と呼ばれた木造住宅やアパート、寮、幼稚園、病院、映画館、競技場、テニスバレーコート、プール、売店などが建ち並び、市街地を形成しました。鹿瀬駅では一日の乗降車数が2000人もいた時代がありました。【鹿瀬集落】

町めぐりウォークの時にガイドの清野浩さんから聞いたお話と同じだね。昭和の時代には、人がたくさん住んでいたんだね。



集落の墓地の中央に戦国時代の武将「武田信玄」のひ孫「武田信重」の墓があります。なぜ、武田信玄のひ孫の墓が残されているのかは不明ですが、平成6年阿賀町教育委員会発行の「鹿瀬町歴史散歩」には、かつて日出谷地域にあったと伝わる鉱山に関係しているのではないかという考察が載っています。【中村集落】

有名な戦国武将のひ孫の墓があるなんて、なんだか不思議だな。もっと阿賀町の歴史を調べてみたいな。



毎年7月8日には全海堂で御開帳大祭が行われます。深戸区で農業と筏流しをしていた全海法師が1687年に入寂し、即身仏として祀られ、今も多くの方がお参りに来ます。戦後のころは祭礼の日に1000人を超える人々が参拝に訪れていました。【菱潟集落】



今年の御開帳大祭に3年生が見学をさせてもらったよ。当日は雨だったけれど、たくさんの方がお参りに来ていたよ。

*子どもの声は、実際のものではありません。予想される児童の反応です。

*他に上川地域の八田蟹集落・室谷集落・小手茂集落、三川地域の新谷集落・熊渡集落・石間集落が掲載されています。

冊子の巻頭言に町社会教育委員長 村山賢二さんの「子どもたちの情操教育などに活用することを目的に取り組んだのがお宝発見事業です。」という言葉が掲載されています。15年教育の核となる阿賀学にこの冊子を活用していきたいと考えます。

【読書旬間】 本の読み聞かせ！



読書の秋、読書旬間に合わせて津小サポーターの皆様から本の読み聞かせ会をしていただきました。吉川寿子さん、宮澤奈緒美さん、ボランティアありがとうございました。

【スキーの準備】 リフト乗降体験！



1・2年生が、津川小学校の体育館でリフト体験をしました。この体験を生かして、3学期のスキー教室でもリフトに乗ってゲレンデを楽しく滑り降りたいです。

〈ジュニア展 入賞おめでとうございます！〉

新潟県ジュニア美術展の入賞者が新潟日報の紙面で発表されました。津川小学校からは、6人の子どもたちが入賞しました。

【優秀賞】竹井すみれさん（1年）【奨励賞】石川 月詠さん（2年）

【奨励賞】田実 希彩さん（3年）【奨励賞】波田野美遥さん（4年）

【奨励賞】本間 優香さん（4年）【奨励賞】長谷川颯大さん（4年）

